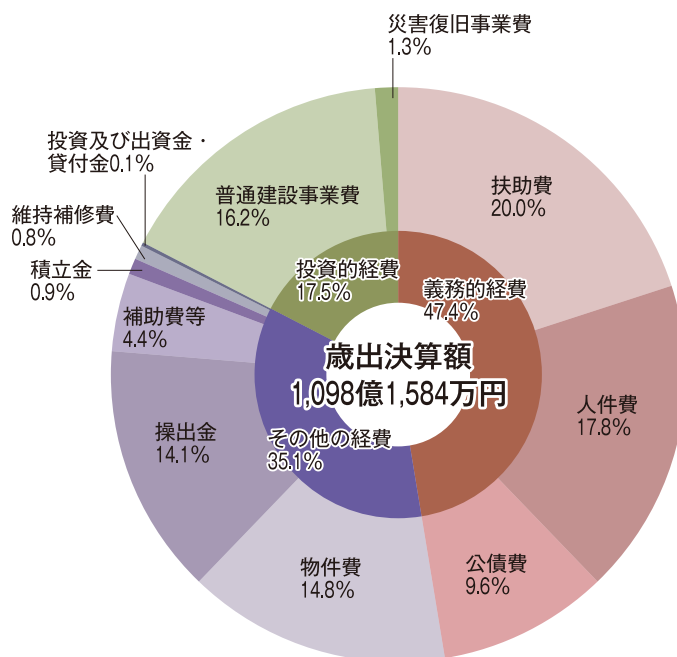


# 歳 出

歳出決算額について、性質別と目的別に主な状況をお知らせします。

## 平成26年度歳出性質別決算状況

科目		決算額	構成比(%)
義務的経費	人件費	195億6,683万円	17.8
	扶助費	219億8,005万円	20.0
	公債費	104億7,607万円	9.6
<b>義務的経費計</b>		<b>520億2,295万円</b>	<b>47.4</b>
その他の経費	物件費	162億8,626万円	14.8
	維持補修費	9億2,286万円	0.8
	補助費等	48億 388万円	4.4
	積立金	10億 670万円	0.9
	投資及び出資金・貸付金	1億1,310万円	0.1
	繰出金	154億5,338万円	14.1
	<b>その他の経費計</b>	<b>385億8,618万円</b>	<b>35.1</b>
投資的経費	普通建設事業費	178億2,577万円	16.2
	うち補助事業費	58億7,063万円	5.3
	うち単独事業費等	119億5,514万円	10.9
	災害復旧事業費	13億8,094万円	1.3
<b>投資的経費計</b>		<b>192億 671万円</b>	<b>17.5</b>
<b>合 計</b>		<b>1,098億1,584万円</b>	<b>100.0</b>



歳出のうち、支出が義務付けられ、任意に削減できない義務的経費は、520億2,295万円(全体の47.4%)となっています。義務的経費には職員の給与などの人件費、社会保障関係経費などの扶助費、および地方債の元利償還などの公債費が含まれます。

道路、公園、学校施設の整備など、支出の効果が長期にわたる投資的経費は、192億671万円(17.5%)となっています。

義務的経費と投資的経費を除いたその他の経費は、385億8,618万円(35.1%)で、消費的性質を持つ物件費や特別会計への繰出金が主なものです。

## 都市計画税はこのように使われました

都市計画税は、公園・下水道整備などの都市計画事業や土地区画整理事業、それらの事業を行うため過去に発行した地方債の償還に使う目的税で、平成26年度の決算額は22億1,517万円でした。

使途の内訳は、公債費として19億6,054万円(全体の88.5%)、土地区画整理事業として1億3,786万円(6.2%)、都市計画事業として1億1,677万円(5.3%)を充当しました。

事業等名称	決算額	一般財源		その他財源
		一般財源	都市計画税充当額	
都市計画事業	公園事業	2,919万円	1,139万円	1,800万円
	下水道事業	2億7,010万円	1億 538万円	—
土地区画整理事業	津駅前北部土地区画整理事業	3億5,333万円	1億3,786万円	4,254万円
公債費	一般会計	8億9,816万円	3億5,044万円	—
	下水道事業	39億4,105万円	15億3,768万円	—
	土地区画整理事業特別会計	1億8,562万円	7,242万円	—
合 計	57億3,799万円	56億7,745万円	22億1,517万円	6,054万円